

令和元年11月29日

保護者の皆様

旭川市立近文第二小学校
校長 丸山 健 二

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の公表について

今年4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果について、次のように公表します。

【国語】 国語科の学習領域は、次の4つからなります。

- ①話すこと・聞くこと ②書くこと ③読むこと
④伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(漢字やひらがなローマ字等)

本校児童は、「話すこと・聞くこと」「読むこと」について得意であると言えます。これは朝や帰りの会、全校給食等での日々のスピーチの取組や授業でのまとめを子どもたち自身で表現すること、いきいきタイムなどで読書活動を継続していることが効果を上げていると言えます。

一方「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を苦手としている児童もいます。特に「図表やグラフなどを用いた目的を捉える」ことや「目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、まとめて書く」こと、「漢字を文の中で正しく使う」ことに課題が見られました。各教科の授業だけではなく、総合的な学習の時間などにおいても、目的や意図、考えた理由を明確にしてまとめを行ったり、正しい文章でわかりやすく相手に伝えたりする活動に取り組んでいきます。

【算数】 算数科の学習領域は、次の4つからなります。

- ①数と計算 ②量と測定 ③図形 ④数量関係

本校児童は、どの学習領域においても、多くの児童がしっかりと理解をしています。これは、日常の授業で、児童個々のつまずきを明確にしながら、個に応じた学習指導をしている成果と考えます。今後は、やや苦手としている「式の意味や計算の仕方を解釈し、適用する」力を付けることで、さらに伸びると考えます。身に付けている知識や技能を活用して、問題を解決することや筋道立てて考える過程を重視した授業の充実に努めていきます。

【児童質問紙調査】

「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時間に寝て(起きて)いますか」という設問には、ほとんどの児童が「はい」と答えています。各家庭の協力もあり、基本的な生活習慣がしっかり身に付いていると言えます。一方、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、「30分より少ない」と答える児童の割合が高くなっています。本校では、放課後の学習を積極的に行っていますが、今後は家庭との連携を深めながら、家庭学習の充実に取り組んでいきます。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本校としては、これからも個に応じた指導と学習したことをまとめたり、学習の過程を振り返ったりする指導を徹底していきます。また、御家庭でも努力したことを認め・励まし、子どものやる気を喚起させるとともに、これまで以上に家庭学習の充実に御協力をお願いいたします。

以上、何か御不明な点があれば、教頭〔安藤〕まで御連絡ください。(57-2201)